



演題：Undruggable な標的とパッセンジャー変異を狙う

次世代血液がん治療：CRISPR-Cas13 と近接誘導法の応用
Targeting Undruggable Targets and Passenger Mutations for Next-Generation
Blood Cancer Therapy: Applications of CRISPR-Cas13 and Proximity Induction

演者・所属：合山 進 先生

(Goyama Susumu, MD, PhD.)

東京大学大学院新領域創成科学研究科 先進分子腫瘍学分野
Division of Molecular Oncology, Graduate School of Frontier Sciences,
The University of Tokyo

日 時：令和 8 年 11 月 13 日（金）午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

場 所：千葉県がんセンター 新棟 4 階大会議室

要 旨：

近年のゲノム解析により多数の遺伝子変異が同定されていますが、その多くは機能を持たない「パッセンジャー変異」として治療標的から外されてきました。また、TP53 変異などの「Undruggable」な標的の克服も依然として高い壁となっています。本講演では、この「機能を持たないパッセンジャー変異」や「創薬困難な TP53 変異」を、がん細胞特異的な標的として活用する私たちの新たな取り組みについて紹介します。具体的には、CRISPR-Cas13 のコラテラル活性や近接誘導法を用いた独自のアプローチについて解説します。本発表を通じ、これら次世代型の治療戦略について様々な議論ができれば幸いです。